

## 新しい趣向

岩河敏宏

聖書：イザヤ書 43 章 1 節、18 節～19 節前半

1 ヤコブよ、あなたを創造された主は／イスラエルよ、  
あなたを造られた主は／今、こう言われる。恐れる  
な、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。  
わたしはあなたの名を呼ぶ。(中略) 18 初めからのことを  
思い出すな。昔のことを思いめぐらすな。  
19 見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。

冒頭の「あなたは恐れるな」(1 節)、という主の言葉を聞いているのは、今はバビロニアで捕囚とされているイスラエルの民です。異国において約 70 年もの間、不自由な生活をしている民にとっては、主の言葉に実感はありません。変わらない現実の中であって、無気力に過ごす民の現状を「耳の間こえない人、目の見えない人」(42 章 18 節)、「主の道に歩もうとせず、その教えに聞き従おうとしなかった」(同 24 節後半)、と主によって指摘されています。この言葉の直前には「奪う者にヤコブを渡し／略奪する者にイスラエルを渡したのは誰か」と問い、「それは主ではないか」(同 24 節前半)と応答することで、失望と落胆の中にある捕囚の民が主の呼びかけをどのように聞くかで希望へと転換することを示します。「あなたは恐れるな、わたしはあなたを贖った(完了形)」(43 章

1 節)の言葉で始まる救いの約束が具体的に語られています(同 1 節～7 節)。エジプトからの脱出という、イスラエルの民が体験した救いを具体的に記すことで、神の言葉に実効力があることを示します。その前提で、初めからのことや昔のこと、自分の人生の始まりにある動かしようもない現実(ここでは捕囚の現実)について、あなたたちは思い出すな、と神は告げます(18 節)。この真意は、捕囚という運命を背負い、いくら努力しても無駄だし、どうしようもないのだという無気力、倦怠感から抜け出すために、彼らが目を向けなければならないのは、出エジプトの神(創造主なる神)だということ。その同じ神が「わたしは新しいことを行う。今や、それは芽生えている」(19 節)と宣言したのならば、自力では拓けなかった新しい人生の歩みが…、という希望を神は民に抱かせようとしたのです。

新型コロナウイルスの分類も 5 類に引き下げられ、社会でも段階的に活動が戻りつつあります。埼玉和光教会や小羊幼稚園においても、他者との交流を含む活動の機会を適宜設けるようになりました。それは、以前に行っていた活動を復活させるという思考ではなく、コロナ禍という厳しい時を経験したからこそ可能になった、新しい趣向の中からのチャレンジでありたい。神が、その働きを支えて下さると信じて。